

町ぐるみ「和木学園」報告書

和木学園歴史教室



1 和木学園の概要

町全体を学園と捉えて、その学園で行われる生涯学習を推進する取組である。新たな取組として、生涯学習を推進するイベントやニーズに応じた講座づくりを展開するとともに、これまで取り組んでいる活動も和木学園の取組として捉えることができる。

2 和木学園歴史教室の実施目的

町内の石碑・寺社などの史跡を巡り、和木町の歴史文化について学ぶ。また、町内の園小中に着任した先生にも参加してもらい、町の地理と歴史を知ってもらう。

3 日時・場所

日時：平成31年4月20日（土）9：00～13：00

場所：和木町文化会館 講習室、町内及び一部大竹市内

4 講師

和木町文化財保護審議会 会長

正 中 克 磨 氏

5 参加者

学園生 11名

事務局 2名

6 日程

9：00 開会、座学（国境紛争とその解決、古地図の見方など）

9：40 史跡巡り（コースは別紙1参照）

12：45 文化会館着、アンケート記入

13：00 閉会

7 講座の様子

江戸時代の古地図を見ながら、今と昔の地形がどう違うのか、またその違いはどうして生まれたのかななどの解説を受け、さらに古地図を見る際の視点・注意点なども教わった。

その後、史跡巡りを行ったが、今回は昨年度からコースを一部変更して大竹市側にも足を延ばし、小瀬川沿いにある長州之役戦跡碑をまわり、山口県側では四境戦争または幕長戦争と呼ばれる152年前の戦いについて、広島県側（幕府側）の視点も含めて解説を受けた。

また、江戸時代から明治時代での大きな社会の変革と、それに伴う北海道や海外への移民についてなど、近世のみならず、近現代の出来事に関わる史跡などもあるため、幅広く町の歴史を知ることができた。





参加者アンケート結果（11人中11枚回答）

問1 この講座に参加した感想を教えてください。

とても満足 4 満足 6 普通 1 あまり満足しない 0 不満 0

問2 この講座のよかったところ・改善すべきところを教えてください

○よかったところ

- ・ウォーキングできたところ。灯台下暗しを少しでも解消できました。
- ・長い間和木町に住み、知らない事ばかりでした。体力のある内参加できて良かったです。
- ・和木町を歩きながらまわることで、目的のものだけでなく、途中で気づくものもたくさんあって良かった。和木に住みながらも知らないところがたくさんあったので、知識が増えて良かった。
- ・実際に足で歩くことで、位置関係等実感しながら話を聞くことができた。説明が分かり易く、内容がよく分かった。
- ・和木の歴史を知るとともに、地域についても知ることができた。
- ・和木の事が良くわかった。
- ・ガイドしてくださる方が、質問によくこたえてくださったので、勉強になった。
- ・和木町の歴史を知ることができた。
- ・和木のことをよく知れた。
- ・校区内のことでも知らないことが多いので、良い経験となりました。歴史を知り、児童の指導に役立つ部分が多いと感じました。

●改善すべきところ

- ・言って説明していただいたことをまとめた資料があれば、より分かりやすいかと思った。
- ・教育につながる点あまり無かったように思う。休みの日ではなく平日に行ってほしい。

- ・蜂ヶ峯に、資料や写真があったので、実際にまわらなくても良いと思った。
- ・時間が少し長いと思いました。
- ・もう少し和木町に関わった後に学習する機会があってもよいかと思いました。

問3 この講座をどのように知りましたか。

広報わき	3	案内チラシ	7	人づてに聞いた	その他	1
------	---	-------	---	---------	-----	---

問4 「こんな講座を受けてみたい・やってみたい」というご意見があればご記入ください。

- ・関ヶ浜方面にも行ってみたいです。
- ・コンビナート関係の工場での講座も受けてみたい。
- ・太平洋戦争時に限定した講座も受けてみたい。
- ・ものづくり系の講座も受けてみたい。
- ・瀬田、関ヶ浜の史跡も見てみたい。
- ・和木の特産品について、実際に体験してみたいです。
- ・世代を超えた交流
- ・せっかく大きな工場があるので、そちらを見学する機会があると良いかと思ます。

まとめ（事務局所感）

昨年度に引き続き、町ぐるみ「和木学園」講座として、歴史教室を実施した。散策しながらの歴史教室は、天気も良く、終始和やかな雰囲気で行うことができた。

参加人数は、事務局を含め13名。内、今年度着任教職員が7名。また、町外からの参加者も1名。

アンケート結果は、「とても満足」「満足」を合わせると90%を超えていた。そのため肯定的な意見が多くみられた。今後も時期、時間、内容等について、必要があれば講師と協議しながら改善をしたい。

講師の正中氏は、今回の歴史教室のみならず、昨年度、小・中学校で特別授業を実施いただくなど、全年齢を対象として地域の歴史に関心をもってもらう活動をされている。

和木学園講座として取り組めることをさらに広げ、歴史教室だけでなく、多くの町民に周知することが重要と思われる。ワークショップでの取組だけでなく、既存の取組をその担当課が和木学園と意識することだけで飛躍的に和木学園構想が周知できると考える。